

## 令和3年大船渡市教育委員会第2回定例会会議録

### 1. 日 時

令和3年2月9日（火） 午後2時から午後4時まで

### 2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

### 3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

### 4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	熊 谷 善 男

### 5. 議 事

議案第1号 令和3年大船渡市議会第1回定例会に提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて

協議第1号 令和3年大船渡市議会第1回定例会における大船渡市教育委員会教育長演述要旨について

### 6. 報告事項

(学校教育課)

- ① 第7回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 中学生意見交換会の実施結果について

(生涯学習課)

- ① 大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等への感謝状の贈呈対象者の決定について

### 7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和3年大船渡市教育委員会第2回定例会の開会を宣言する。
- ・令和3年第1回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。

- ・ 諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(学校教育課長)

- ・ 別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・ 別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・ 追加報告を求める。
- ・ 追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・ 副校長会議の評価の中で、当面の課題について情報交換するため、学期に1回の開催が必要ではないかとの意見があったが、来年度は年1回の開催予定となっている。副校長方の要望を受けて回数を増やしてはどうか。

(学校教育課長)

- ・ 副校長会議の内容については、校長会議の内容とほぼ同一の内容になっているため、校長が校長会議の内容を副校長に伝達することで、会議に出席する負担を減らすことできる。交流会であれば、副校長で設定することができる。同じ内容の会議を2回開催することに疑問を感じたため、今回は会議の回数を削減する提案をしたが、今後、事務局で検討したいと考えている。

(教育長)

- ・ 今年は新型コロナウイルス感染症の影響があったことから、様々な副校長研修会が中止となり、新任の副校長が交流する機会が無く、何か疑問があった際には、勤務校の校長や同じ学区の副校長に確認する状況であった。来年度の副校長会議では何かテーマを決めて研修会を実施するなど、校長会議とは内容を変えて実施すべきと思われる。

(教育長職務代理人)

- ・ 副校長が実質的に学校を牽引する役割を担っているため、情報交換の機会が必要であると感じた。

(学校教育課長)

- ・ 昨年度、副校長から、校長会議と同様の会議を開催すべきかとの疑問が多かったが、今年度については、情報交換の機会が欲しいとの要望があったため、会議の形式に限らず、学校運営をサポートする上で、意見交換の場が提供できるよう検討している。

(委員)

- ・ 以前も副校長会議の内容が単なる報告だけで存在意義が薄れており、自分たちの課題を解決できる場は欲しいとの要望があった。初任者研修も年1回ではなく2回実施すべきではないか。

(学校教育課長)

- ・ 来年度、県全体の初任者研修の計画が大幅に変更され、初任者がいる市町村では県から回数を削減するよう指示を受けた。研修会については、2回に分けて開催したり、1日に凝縮することも可能である。副校長会議とは異なり、初任者研修は県の計画に従って削減したが、内容を充実して開催したい。

(委員)

- ・令和2年度大船渡市教育の重点の反省における感想である。開かれた学校経営の充実であるが、コロナ禍の中、それぞれの学校が可能な教育活動を模索し、成果を上げていたように思う。学力保証・授業改善の推進については、学習習慣の確立がなされ、家庭学習ノートを紹介するなど、家庭学習が充実していると感じる。健康教育の推進については、家庭での新型コロナウイルス感染症予防を徹底することで、生活習慣の確立が図られていると思う。生徒指導の充実の改善として、日常観察で児童理解に努めているものの、学校の保護者からの更なる児童理解に努めて欲しいとの意見が寄せられたことに対し、学校側の粘り強く意見を傾聴する姿勢を評価したい。キャリア教育の充実について、学習・芸術参観において学習の成果を外部に発信する活動は児童の意欲の向上に繋がるため良い経験となる。特別支援教育において通常学級に在籍する児童生徒に対しても、個別の指導計画を作成することは重要である。復興教育・防災教育については副読本を効果的に活用しており、避難訓練等を通じて各学校とも力を入れているように感じた。

(学校教育課長)

- ・各学校においては、コロナ禍の中、各行事等の必要性や開催の在り方を検討する貴重な機会になった。今年度は保護者を含めた研修会を通じて特別支援教育の実態を把握できたと思う。特別支援教育に対しては、教員の研修機会を充実させるよう検討していたが、来年度より、幼稚園から小学校までの接続をスムーズに行うための研修を実施する予定である。

(委員)

- ・今までは、各学校で伝統行事や様々な取り組みがあったと思うが、統合された場合にはどのように教員側が生徒に伝えていくのか。

(学校教育課長)

- ・今の質問については、第一中学校に統合する際に地域から要望があった。現状全てを地域に盛り込むのは難しいが、総合的な学習の時間で地域を学ぶことは必要であると感じている。

(生涯学習課長)

- ・第一中学校で全て活動を実施することは難しいため、それぞれの地区の活動が重要である。

(教育長)

- ・6地域が集まれば伝統芸能などを文化祭等で発表することは難しくなると思うが、学校の取り組み次第では、運動会や芸術発表などで機会を設けることが可能となる。保護者からの評価を受けて来年度の構想を検討している段階であると思われる。地域で伝統芸能を指導し、学校で発表するなどの工夫が必要であるが、授業時間の確保等の課題がある。

(教育長職務代理者)

- ・学区連携について、第一中学校が統合したことで学区内の小中学校が7校になった。統合により学区連携が機能しないことがないように、特に、統合後に学校間や地域との連携を深める必要がある。

(学校教育課長)

- ・コミュニティースクールを含めて学校と地域との連携は必要である。地域に協力を求める場合も想定されるため、地域との連携を深めるよう働きかけるよう努力する。

(教育長職務代理人)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の学校統合に係る経過説明会は開催されたのか。開催されたのであれば、概要を説明してほしい。

(教育次長)

- ・市内で新型コロナウイルス感染症患者が確認されたこともあり、現在は対象の3小学校での説明会が終了した状況である。各学校とも10人前後の参加で、子供達のために早く統合すべきである意見が多数であった。中には、教育委員会が主導で統合を進めて欲しいとの意見や、速やかな統合を強く希望する意見があった。今後、中学校でも説明会を開催する予定である。

(教育長職務代理人)

- ・今回の説明会の出席者と推進協議会の委員の方々とは意見が異なるとの見解でよろしいか。

(教育次長)

- ・委員の方々も統合が必要であるとの考えであるが、校名で合意できなかったことがPTAの方の不満になったと思う。

(委員)

- ・今後の中学校での説明会を踏まえ、教育委員会が主導して統合を進めることは難しいか。

(教育次長)

- ・次の段階に進むにあたり、進め方や、どの段階から決め直すのかを含めて検討する必要がある。

(教育長)

- ・今回の説明会の出席者は少なかったように感じるが、早期の統合を望む意見が多かったように思う。議会からも統合を推進する意見もあり、今後の進め方を検討しているところである。

(委員)

- ・庶務担当者会議や学校事務改善部会の開催時期を早めに通知してほしい。

(学校教育課長)

- ・来年度は改善したい。

(委員)

- ・令和2年度大船渡市教育の重点の反省についての様式は見直すのか。

(学校教育課長)

- ・来年度より修正する。

(教育長)

- ・今回の資料は学校からの報告をそのまま掲載しているため、教育委員会としての今後の方針も記載すべきである。

(委員)

- ・学校に係る新型コロナウイルス感染症に関するマニュアルを見たが、それに基づいて各学校のマニュアルも作成するとの認識でよろしいか。

(学校教育課長)

- ・基本的には市教委が作成したマニュアルは、国や県に準じて作成されており、これ以上厳しくすると欠席が多くなる恐れがある。今後は感染症のフェーズに合わせて対応が変化することが見込まれる。

(委員)

- ・副校長会議の中で副校長同士が情報交換する場が少なく、感染症対策と他校の様子を知る機会があればありがたいと思う。

(学校教育課長)

- ・7月から入った緊急スクールサポートスタッフの方々の消毒作業などの要望もあり、校長会議にて情報交換を実施したが、副校長の中からも同様の意見があったため、今後は積極的に意見交換をする必要がある。

(教育長職務代理人)

- ・副校長会議の内容等についても、校長会議と同様の資料ではなく、副校長は校長を補佐しながら教員をまとめていく役割があるため、副校長の資質向上を図るような内容に変えるべきである。副校長はそのような会議を希望していると思う。

(学校教育課長)

- ・校長会議と内容が重複しないよう配慮しながら会議を開催したい。

(委員)

- ・市内の新型コロナウイルス感染者に関して、公式に発表される前から生徒に関する情報が出回っていた。学校に復帰した際には配慮願いたい。

(学校教育課長)

- ・学校には患者が確認された場合の配慮について指示しているが、生徒や保護者の間で情報が飛び交った事実については認識している。地域で個人を特定するような動きがあるので対策を検討している。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第1号についてであるが、資料が部外秘であることから秘密会にした  
いと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、秘密会とする。  
一般傍聴人は退席を願う。

～議案第1号 令和3年大船渡市議会第1回定例会に提案する、教育に関する事務につ

いて定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについては、秘密会のため  
会議録省略～

(教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第4号は原案どおり  
可決される。)

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・日程第3、協議第1号についてであるが、資料が部外秘であることから秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、協議第1号は秘密会とする。  
一般傍聴人は退席を願う。

～協議第1号 令和3年大船渡市議会第1回定例会における大船渡市教育委員会教育  
長演述要旨については、秘密会のため会議録省略～

(教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、協議第1号は原案どおり  
承認される。)

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和3年大船渡市教育委員会第2回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員